

令和2年度 奈良県発達障害者支援地域協議会 2020年7月16日

特定非営利活動法人奈良県自閉症協会

1. 2019年度・2018年度に示した意見要望（※別紙）に加え、再度、重度知的障害を伴うASDの強度行動障害についての支援を特に強化してほしい。

○福祉領域の人材育成（・環境調整・行動変容の技術・連携・資源開発の技術）の確立と・医療資源の利用技術との連携。

○奈良県での強度行動障害支援者養成研修の実施（国レベルでは、すでに平成25年より開始されている。基礎研修・実践研修）

2. 奈良における、強度行動障がい者支援助成金の制度の設置

（愛知県岡崎市）1人あたり年額300万円を上限に助成。入所施設から生活介護に対象を拡大。（名古屋市）強度行動障害支援専門チームの派遣の事業を実施。

3. 地域自立支援協議会

○積極的に個別支援会議を開催し早めの医療機関への声かけをする。

○地域の支援体制（整備）に医療も参加する。

○強度行動障害者の行動は、教育、福祉、家庭で変えていける。再学習の方向性を示し、方法を伝える。

○個別支援計画の形骸化の打破。新しいものが盛り込まれない現状の克服。でいあーの指導力必要。

4 就労と自立の目標設定

目的と結果を混同しないで（就労と自立を目標とする悪い習慣を改め、就労は目的ではなくて結果である）支援を行うこと。

※テレビ朝日系列で7月5日放送された、ABCテレビ制作の「強度行動障害 ～わが子を手放す日～」の滋賀の和田さん家族の現状は奈良も同じである。YouTubeに、テレビ画面を録画したものがアップされています。

<https://www.youtube.com/watch?v=UP7gYcpCk7M>

※毎年、信州大の本田秀夫先生のところで主催されているセミナーが今回の新型コロナウイルス感染の関係で、webセミナーとなり、YouTubeにアップされていて、観ることができます。よい機会です。ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=rQw7ooPrAw0>

2020年5月16日に開催された「2020年度第1回子どものこころ診療部Webセミナー」における講演内容です。（1時間57分）

「重度知的障害を伴うASDの医療～特に強度行動障害に関して～」

講師：吉川 徹先生（児童精神科医、愛知県医療療育総合センター）

